



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日 東

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所
 コード番号 3950 URL http://www.thepack.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中尾 吉計
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)木森 啓至 (TEL)06(6972)1221
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	58,784	1.7	3,019	5.9	3,186	8.5	2,943	61.8
25年12月期第3四半期	57,793	△0.3	2,852	2.7	2,938	△0.2	1,819	7.1

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 3,001百万円(35.5%) 25年12月期第3四半期 2,214百万円(18.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	147.99	—
25年12月期第3四半期	91.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	63,294	41,513	65.6
25年12月期	65,091	39,507	60.7

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 41,488百万円 25年12月期 39,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
26年12月期	—	25.00	—		
26年12月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	2.0	5,700	8.5	5,800	7.6	4,300	30.2	216.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	19,900,000株	25年12月期	19,900,000株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	6,612株	25年12月期	6,602株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	19,892,837株	25年12月期3Q	19,893,438株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善により、雇用状況が着実に改善し、円安や株価の回復など、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、一方では、消費税率引き上げや円安による輸入価格の上昇の影響から個人消費の抑制傾向はなお継続しているものと思われ、本格的な景気回復の見通しは、依然として不透明な状況であります。

当社の属する業界では、消費税増税前の駆け込み需要の反動減がようやく収束しつつありますが、輸入製品や原材料の価格上昇傾向は継続しております。

このような状況の中、当社は、製造・販売拠点の拡大と技術力の拡充を図るとともに、「積極果敢 明るく、強く、逞しく」をスローガンに、グループ全社の結束を一層強化し、新たな市場開拓と適正価格での販売に注力する一方、不採算事業の見直し・改善を図るなど、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は587億84百万円（前年同四半期比1.7%増加）、営業利益は30億19百万円（前年同四半期比5.9%増加）、経常利益は31億86百万円（前年同四半期比8.5%増加）となり、四半期純利益は第2四半期において西日本印刷工業株式会社の完全子会社化に伴う特別利益（負ののれん発生益）を10億64百万円計上したこともあり、29億43百万円（前年同四半期比61.8%増加）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

(紙加工品事業)

当第3四半期連結売上高の59.1%を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比31.1%）は、高級袋が好調に推移したほか、西日本印刷工業株式会社および受注が好調な特百嘉包装品貿易(上海)有限公司の売上も貢献し、紙袋の同上売上高は183億2百万円（前年同四半期比4.8%増加）となりました。

紙器（同上構成比14.5%）は、食品用パッケージの伸長が順調で、同上売上高は85億円（前年同四半期比3.6%増加）となりました。

段ボール（同上構成比10.9%）は、新規受注のほか、主要顧客の業績回復の影響もあり、同上売上高は63億98百万円（前年同四半期比2.8%増加）となりました。

印刷（同上構成比2.6%）は、受注が好調に推移し、同上売上高は15億49百万円（前年同四半期比13.0%増加）となりました。

以上により、この部門の同上売上高は347億50百万円（前年同四半期比4.5%増加）となり、営業利益は東京工場の減価償却費の逦減等によって22億63百万円（前年同四半期比13.9%増加）となりました。

(化成品事業)

当第3四半期連結売上高の21.4%を占めるこの部門では、生産市場主要顧客からの受注が好調であったほか、流通市場向け製品も概ね堅調で、同上売上高は125億90百万円（前年同四半期比4.6%増加）となりましたが、原材料価格上昇の影響により営業利益は4億21百万円（前年同四半期比23.2%減少）となりました。

(その他)

当第3四半期連結売上高の19.5%を占めるこの部門では、流通市場向けギフト品は順調に推移しましたが、繊維品に関する不採算事業の終了及びPASシステム（包装資材その他の製造・調達から在庫管理、納品まで一括で請け負うアウトソーシングシステム）に係る用度品等の売上減少の影響により、同上売上高は114億43百万円（前年同四半期比8.4%減少）、営業利益は10億8百万円（前年同四半期比4.5%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億96百万円減少し、632億94百万円となりました。これは主に「現金及び預金」8億38百万円・「土地」10億80百万円の増加、「受取手形及び売掛金」58億76百万円・「機械装置及び運搬具」3億78百万円の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ38億3百万円減少し、217億80百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」37億78百万円・「短期借入金」7億42百万円の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ20億6百万円増加し、415億13百万円となりました。これは主に「利益剰余金」19億47百万円・「その他有価証券評価差額金」24百万円の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、都市部や高額商品の消費が回復傾向にあるものの、消費者の節約志向が強いことから日常消費は力強さを欠くなど、消費の二極化が表れ、先行きの市場動向は不透明と思われま

社は、このような状況の中、必要となる設備には積極的に投資して国内外の市場開拓、事業の拡大を行うとともに、事業内容の見直しや業務改革による合理化を推進して利益体質強化を図り、製品・サービスの開発と品質向上に一層注力して適正価格による販売に努め、さらなる業績の向上に努める所存でございます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,191	9,029
受取手形及び売掛金	21,452	15,575
有価証券	3,699	4,399
商品及び製品	4,761	5,522
仕掛品	605	847
原材料及び貯蔵品	606	713
繰延税金資産	167	286
その他	592	526
貸倒引当金	△16	△14
流動資産合計	40,059	36,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,704	7,473
機械装置及び運搬具（純額）	5,281	4,902
工具、器具及び備品（純額）	253	221
土地	7,146	8,227
建設仮勘定	59	652
リース資産	-	182
有形固定資産合計	20,445	21,659
無形固定資産	187	177
投資その他の資産		
投資有価証券	3,365	3,434
繰延税金資産	456	464
その他	638	734
貸倒引当金	△62	△62
投資その他の資産合計	4,398	4,571
固定資産合計	25,031	26,409
資産合計	65,091	63,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,161	15,382
短期借入金	792	50
未払法人税等	703	539
賞与引当金	166	549
役員賞与引当金	30	22
その他	2,069	1,995
流動負債合計	22,923	18,539
固定負債		
退職給付引当金	2,576	2,693
その他	84	547
固定負債合計	2,661	3,241
負債合計	25,584	21,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,165	3,167
利益剰余金	33,003	34,950
自己株式	△6	△6
株主資本合計	38,716	40,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	967	991
繰延ヘッジ損益	7	9
為替換算調整勘定	△207	△178
その他の包括利益累計額合計	766	822
少数株主持分	23	25
純資産合計	39,507	41,513
負債純資産合計	65,091	63,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	57,793	58,784
売上原価	44,973	45,735
売上総利益	12,820	13,049
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,631	2,690
給料及び手当	2,534	2,585
役員報酬	291	291
貸倒引当金繰入額	△10	△2
賞与引当金繰入額	292	289
役員賞与引当金繰入額	20	21
退職給付費用	305	292
減価償却費	530	486
賃借料	1,568	1,603
その他	1,803	1,769
販売費及び一般管理費合計	9,967	10,029
営業利益	2,852	3,019
営業外収益		
受取利息	56	65
受取配当金	42	44
その他	38	74
営業外収益合計	137	184
営業外費用		
支払利息	12	7
売上債権売却損	3	2
為替差損	29	-
その他	7	8
営業外費用合計	52	17
経常利益	2,938	3,186
特別利益		
投資有価証券売却益	98	-
固定資産売却益	0	2
負ののれん発生益	-	1,064
特別利益合計	99	1,067
特別損失		
固定資産除却損	2	17
固定資産売却損	0	-
投資有価証券評価損	3	2
減損損失	-	13
特別損失合計	6	33
税金等調整前四半期純利益	3,030	4,221
法人税、住民税及び事業税	1,031	1,417
法人税等調整額	180	△141
法人税等合計	1,211	1,276
少数株主損益調整前四半期純利益	1,819	2,944
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	1
四半期純利益	1,819	2,943

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,819	2,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	282	24
繰延ヘッジ損益	△0	2
為替換算調整勘定	113	30
その他の包括利益合計	395	56
四半期包括利益	2,214	3,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,215	2,999
少数株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。